

JACLaP WIRE No.67 (2004年2月12日発行)

本メールは日本臨床検査専門医会の電子メール新聞 JACLaP WIRE No.67 です。

===== 目次 =====

【お知らせ】

【お知らせ1】会員動向(2004年1月30日現在数 657名, 専門医 468名)

【お知らせ2】春季大会のお知らせ

【お知らせ3】平成16年度会費の振り込みについて

【お知らせ4】WASPALM 会長 Dr. Kenneth McClatchey の追悼式

【お知らせ5】内科系学会社会保険連合(内保連)第95回例会について

【WHO トピックス】

【1】イランのバムの大地震で救助された人に緊急援助が必要

<Press December 2003 WHO-175>

【最新トピックス】

【1】わが国で輸血された患者が HIV 感染

【MTJ (The Medical & Test Journal) 1月11日号から】

【MTJ (The Medical & Test Journal) 1月21日号から】

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ1】会員動向(2004年1月30日現在数 657名, 専門医 468名)

新入会員

岡嶋 研二 先生	熊本大学大学院病態情報解析学
近藤 成美 先生	順天堂大学臨床病理
五十嵐俊彦 先生	新潟県厚生連病理センター
山崎 滋孝 先生	順天堂大学浦安病院検査科
木下 喜光 先生	大阪市立大学血液病態診断学

新入振興会会員

わかもと製薬株式会社
ニプロ株式会社
株式会社ニチレイ
旭化成ファーマ株式会社
ファルマシア有限会社

所属その他変更

小林 利次 先生 旧：牧山中央病院在宅医療部内科
新：牧山中央病院内科・臨床検査部 部長
鎌田 満 先生 旧：労働福祉事業団青森労災病院
新：岩手県立磐井病院 病理科
加藤 元一 先生 旧：京都第二赤十字病院中央検査部
新：済生会京都府病院臨床検査科 部長

訃報

星野 敦 先生 2004年1月9日ご逝去

退会

水無瀬 昂 先生 NTT東日本札幌病院臨床検査科

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ2】春季大会のお知らせ

第14回日本臨床検査専門医会春季大会・総会について

場所：ピューリテイまきび「孔雀」

日時：平成16年4月9日金曜日 17:00-20:00

4月10日土曜日 9:00-17:20

平成16年4月9日(金)

1) 特別講演 17:00-18:00 (60分)

司会：小出典男

演者：岡山大学第二外科 伊達至洋 先生

演題：「移植医療と臨床検査－肺移植の現状」

2) 懇親会 18:00-20:00

場所：ピューリテイまきび「千鳥A」

平成16年4月10日(土)

3) シンポジウム1 9:00-11:30 (150分)

司会：渡辺清明、高木 康

テーマ：包括医療と臨床検査

1. DPCにおける臨床検査の実態 高木 康(昭和大学)

2. 包括医療での臨床検査医のあり方 福武勝幸(東京医科大学)

3. DPCにおける病理医のあり方 水口国雄(帝京大学)

4. 包括医療に対応した臨床検査ガイドライン 川合陽子(慶応義塾大学)

5. 包括医療の保険制度への対応(特に臨床検査関連項目) 森三樹雄(獨協医科大学)

- 4-1) 全国幹事会 場所：「ガーネット」 11：45-12：45 (60分)
4-2) ランチョンセミナー 場所：「孔雀」(テーマ未定) 11：45-12：45 (60分)

5) 総会 場所：「孔雀」 12：50-13：10 (20分)

6) フォーラム 13：15-14：35 (80分)

司会：森三樹雄、吉田 浩

テーマ：新規収載検査項目(知っておくべき検査)

1. 「抗酸菌検査」 岡田 淳(関東通信病院)
抗酸菌交代価精密測定
結核菌群リファンピシン耐性遺伝子同定検査
2. 「肝炎の検査」 真治紀之 (岡山大学)
HCV コア蛋白質測定
血清中のHBV プレコア変異およびコアプロモーター変異遺伝子同定検査
3. 「血清中抗デスマグレイン1抗体、血清中抗デスマグレイン3抗体」
大島久二(藤田保健衛生大学)
4. 「HER-2の検査」 岡部英俊(滋賀医科大学)
HER-2 遺伝子(FISH利用)
HER2 タンパク

7) シンポジウム2 14：45-17：15 (150分)

司会：中原一彦、神辺真之

テーマ：病院マネジメント改革と医学教育

演者：

- 1) 卒前の臨床検査医学教育の在り方
富山医科薬科大学 臨床検査医学 北島 勲
- 2) 卒ご教育と臨差悪検査医学のかかわり方
東京大学医学教育国際センター 北村 聖
- 3) 卒後研修と臨床検査医学のかかわり方
東葛病院 臨床病理科 下 正宗
- 4) 検査部はとこまで臨床にかかわるか
山形大学臨床検査医学 富永 真琴
- 5) 検査部と総合診療内科との関係
岡山大学臨床検査医学 越智 浩二

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ3】平成16年度会費の振り込みについて

平成16年度の日本臨床検査専門医会会費の振り込み用紙を年間計画、教育セミナー参加ご案内とともにお届けいたします。

本年度からは振り込み用紙に先生の御所属、ご氏名を記入してお届けいたします。変更がある先生は変更点を記載してお振り込みください。

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ4】WASPALM 会長 Dr. Kenneth McClatchey の追悼式

WASPALM 会長の Dr. Kenneth McClatchey は 2003 年 8 月上旬に膵臓がんの手術を受け、その後元気であったが 12 月 21 日に突然 62 歳で死亡した。2004 年 1 月 17 日に追悼式が Ann Arbor にあるミシガン大学のフォード記念講堂で行われ、約 300 名が出席して、盛大に挙行された。WASPALM からは、新会長になったブラジルの Dr. Melo と前会長の私が出席して哀悼の意を表した。日本からは、ミシガン大学に留学中の福島医大の今福 裕司先生も出席した。追悼式は数人の友人の弔辞および、本人の写真がバックグラウンドミュージックが流れる中でスクリーンに写し出されて、在りし日の故人を偲んだ。

Dr. McClatchey は、アメリカの臨床検査医中で大変著名な人で、臨床検査医学に関する数々の本の著者、Annals of Pathology and Laboratory Medicine の編集長として活躍していた。WASPALM は大変惜しい人をなくし残念である。

(WASPALM 前会長 森三樹雄)

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ5】内科系学会社会保険連合(内保連)第95回例会について

内科系学会社会保険連合(内保連)第95回例会が1月26日(月)17:30より東海大学校友会館で開催された。斉藤 寿一代表より平成15年度の活動報告がなされ、次いで國島副代表より15年度の会計決算が報告され承認された。新規に加盟を申請した、日本脳卒中学会、日本神経リハビリテーション学会の入会が認められ、現時点で69学会が内保連に加盟している。平成16年度の内保連の活動について茅野副代表より、内保連として内科系医師の技術料の評価を詳細に行うことになった。また、高橋 進副代表よりDPCの包括化についての歴史的経緯および今後の活動について報告があった。平成16年度診療報酬改定要望書について斉藤代表より本年度は提出がやや遅れたが、次回は早めに提出することになった。その他、内保連でホームページを開設して、内保連の規約・細則、代表・副代表・委員会および委員長一覧、加盟学会、平成16年度診療報酬改定要望書などを掲載することになった。平成16年度診療報酬改定は小さな改定で、平成18年度診療報酬改定は抜本的改定になりそうである。

(内保連副代表 森三樹雄)

===== JACLaP WIRE =====

【WHO トピックス-1】イランのバムの大地震で救助された人に緊急援助が必要

< Press December 2003 WHO-175 >

イランのバムの大地震では 26,700 人が埋まり、30,000 人が外傷を受け、12,000 人が病院に入院した。合計 90,000 人の住民の 20,000 家屋が地震で崩壊した。夜間の温度の低下、不潔な水、不衛生な環境、多数の怪我をした患者などに対し十分な対応ができないため、住民の健康上の危険性が增大しており、衛生物品と薬品が緊急に必要な。バムにある主要な複数病院、数種類の健康クリニックは倒壊し、多くの医師および看護師が死亡または外傷を受けた。これらの医療施設を再建するためには、少なくとも 2500 万 US ドルが必要である。WHO では 350 万 US ドルを地震の生存者の健康管理に用いることにしている。(獨協医科大学越谷病院臨床検査部教授 森 三樹雄)

===== JACLaP WIRE =====

【最新トピックス-1】わが国で輸血された患者が HIV 感染

エイズウイルス(HIV)に感染した 20 代の男性献血者の血液が 2003 年 5 月、日本赤十字社の高精度検査をすり抜け、この血液を輸血された患者が HIV に感染していた。日赤では 1999 年 10 月より核酸増幅検査(NAT)と呼ばれる高感度検査を実施し、偽陰性者を最小にするよう努力していた。日赤によると、この男性は 5 月に献血を行い、その時の検査では陰性と判定され、献血された血液は病院に出荷された。同じ献血者が 11 月 16 日に再び献血した際には陽性と判定された。5 月の血液検査時はウインドー期間と考えられる。

厚生労働省によると、献血時の検査で HIV 陽性と判定されたケースは、1987 年には 11 件、1997 年には 54 件、2002 年は 82 件と大幅に増えており、血液検査の代わりに献血する人が増えているようだ。日赤は、検査精度の向上のための方策や献血時の身元確認などを実施する再発防止策を発表した。

(獨協医科大学越谷病院臨床検査部教授 森三樹雄)

===== JACLaP WIRE =====

【MTJ (The Medical & Test Journal) 1 月 11 日号から】

「健康食品管理士」の認定制度を具体化

「健康食品管理士」という資格を教育機関の中で認定する動きが具体化している。同認定制度の受け皿となる「健康食品管理士認定協会」が、2 月中にも設立される見通しだ。この「健康食品管理士」では、最近の健康食品をめぐる種々の問題点を理解し、的確な対処ができる人材を教育機関のなかで養成することを目的としている。

厚生省統計情報部 検体検査判断料、超音波検査の伸び堅調

厚生労働省大臣官房統計情報部は、2002年社会医療診療行為別調査・検査小分類調査の結果を昨年末までにまとめた。今回の調査は、02年4月の診療報酬改定直後に行われたもので、検査関連は検査1件当たり点数について入院、入院外ともに前回調査を大きく下回り、改定の引き下げの影響が現れた。その一方で、検体検査系が軒並み点数を大きく下げているのに対し、検体検査判断料をはじめ、超音波検査、内視鏡検査など生体検査系は順調に点数をアップさせた。

日臨技岩田会長 「紹介予定派遣検討会」の設置を検討

今年3月から施行される改正労働者派遣法の紹介予定派遣に対応するため日本臨床衛生検査技師会の岩田進会長は、新年早々にも「紹介予定派遣検討委員会」を設置する考えを1月9日までに表明した。医療資格者の医療機関への派遣は、派遣先（医療機関）が派遣労働者（医療資格者）を派遣就業前に面接などで選定・特定できる「紹介予定派遣」の方式に限って解禁する。

厚生省 SARS コロナウイルス核酸増幅検査で通知

厚生労働省保険局医療課は昨年末、先の中医協で保険収載を了承したSARSコロナウイルス核酸増幅検査に関する検査点数の取り扱いを都道府県に通知（保医発第1218001号）した。保険適用は18日から。同検査は、LAMP法で測定した場合に限り、「D023微生物核酸同定・定量検査」の準用で480点を算定できる。

厚生省 「真空採血管」の品質・安全性の確保を指示

厚生労働省医薬食品局審査管理課は1月5日付の課長通知（薬食審査発第0105007号）で、医療用具「真空採血管」の品質や安全性の確保を製造業者や輸入販売業者などに指示した。通常は、採血管内の内容物が患者の体内に流入することはないが、未滅菌の真空採血管の使用時に不適切な手順で採血を行うと、採血管内の細菌などが逆流し、体内に入る可能性もある。そのため、厚生省は、1)遅くとも今年7月1日までに滅菌処理を施した製品に切り替える 2)12月1日以降に未滅菌の真空採血管が市場で流通することがないように、遅くとも11月末までに必要な措置を講じる ことを関係業者など求めた。

汚染輸血でHIV感染、日赤NAT検査をすり抜け

エイズウイルス（H I V）に感染した献血者の血液が日本赤十字社の高感度検査をすり抜けて出荷され、輸血を受けた患者がH I Vに感染していたことが昨年12月29日、厚生労働省が緊急開催した血液事業部会運営委員会で報告された。患者は輸血前のH I V検査では陰性で、輸血による感染の可能性が高い。

鹿児島大学医学部臨床検査医学講座 総合画像診断支援システムを開発

鹿児島大学医学部臨床検査医学講座（丸山征郎教授）はこのほど、検体検査情報、生理検査情報を、病院情報システム（H I S）から閲覧可能な総合画像診断支援システム「Galileo（ガリレオ）」を開発した。丸山教授は、「付加価値を高めた検査情報として院内で活用する」とともに、今後は、鹿児島県内の医師会病院、公立病院、診療所などを対象にインターネットのウェブ上でデータ閲覧、加工が可能なシステムとして運用をめざす考え。

エスアールエル新社長に田沢裕光氏が就任へ

エスアールエルは昨年12月24日開催の取締役会で新任代表取締役社長に田沢裕光氏（エスアールエル執行役員）を選任するなど、取締役候補者、監査役候補者を決議した。さらに新任取締役（社外）に徳光達生氏（富士レビオ）、新任監査役に清田啓一氏（千秋商事常勤監査役）が予定されている。3月末に開催予定の定時株主総会に付議され、取締役会で決定する。

【M T J（The Medical & Test Journal）1月21日号から】

検体検査管理加算などの評価見直し DPC再評価で中医協に要望

中央社会保険医療協議会（星野進保会長）では、次回診療報酬改定および診断群分類包括評価（D P C）の見直し議論が進んでいる。とくに1月14日の中医協には、大学病院、私立医科大学協会副会長の連名で、検体検査管理加算の評価、病理検査、画像診断に関わる内科的技術を包括対象外にすることなどを盛り込んだD P C見直しに関する要望書が提出された。中でも検体検査管理加算は、大学病院クラスで年間数千万円の収入源になっている。次回診療報酬改定で検体検査管理加算の見直しが行われるのか、注目される。

東大病院新技師長に戸塚信大病院技師長が内定

東京大学医学部附属病院は1月16日までに、検査部・病理部・輸血部・感染制御部の臨床検査技師を統括する眞重文子技師長の今年度末の定年退官に伴い、4月から新技師長に信州大学病院臨床検査部の戸塚実技師長の就任が内定したことを明らかにした。これは全国公募によって選出されたもの。発令は4月1日から。

日本臨床検査医学会 「診断群別臨床検査のガイドライン 2003」を策定

日本臨床検査医学会の平成14年度厚生労働省社会保険基礎調査委託研究班（渡辺清明主任研究者：慶応大学医学部教授、日本臨床検査医学会長）はこのほど、「診断群別臨床検査のガイドライン 2003～医療の標準化に向けて～」をまとめ、公表した。今回のガイドラインは、99年4月にまとめた第1次案（DRG/PPS対応臨床検査のガイドライン）から4次まで一連のガイドライン策定の一環として作成されたもの。同ガイドラインでは新たに「膵臓癌」、「乳癌」の2疾患が盛り込まれ全体で38疾患になった。

=====

JACLaP WIRE, No.67 (2004年2月12日発刊)

発行：日本臨床検査専門医会 [情報・出版委員会]

編集：JACLaP WIRE 編集室 編集主幹：満田年宏

記事・購読(配信)・広告等に関するお問い合わせ先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9 横浜市立大学医学部臨床検査部医局内

E-mail：jaclap_wire@yahoo.co.jp

TEL:045-787-2721 FAX:045-786-0392

日本臨床検査専門医会ホームページ：<http://www.jaclap.org/>

JACLaP WIRE バックナンバー：<http://www.jaclap.org/wire/index.html#TOP>

会員の皆様からの寄稿をお待ちしております！

メーリングリスト配信先の変更には

1.氏名, 2.現行登録アドレスと3.変更希望メールアドレスを添え

てjaclap_wire@yahoo.co.jpまで「配信先の変更希望」としてお送り下さい。
